

日時・場所	令和3年11月8日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、赤坂政策調整部長、馬野政策調整部政策監、市木病院事務部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、吉川教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

- 11月1日、野洲駅南口と北口のイルミネーション点灯式に伺った。今年はバージョンアップされ、例年以上に明るくなり、駅前に活気が出たと思う。
- 除草作業の際、飛び石の事故の報告が相次いでいるので、所管課は注意するようにお願いします。
- 新型コロナウイルスのステージがIに引き下げられたが、第6波が来るとも言われているので、気の緩みが出ないように。

2. 議題

【報告事項】

①令和3年第5回野洲市議会定例会提出議案（案）について

補正予算7件、条例改正・改廃3件、その他9件、合計19件を提出する。

②令和4年度からの都市計画税の課税について

都市計画税については、市議会での慎重な審議を経て令和3年度から課税する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大による市民生活への影響に鑑みて、「令和3年度分の都市計画税は課さない」としたところである。しかし、コロナ禍の現状は昨年度に比べると徐々に改善の方向に向かっている状況であること、また、本市の依然として厳しい財政状況を踏まえると、将来のまちづくりを見据えた持続可能な市政運営を進めるために先送りできない必要な財源であることから、野洲市都市計画税条例に基づき令和4年度から都市計画税を課税することとする。

→資料に「将来のまちづくりを見据えた持続可能な市政運営」とあるが、具体的に提示を求められた際、何か事業はあるのか。

→第2次総合計画に掲げている「多様な人々と多彩な自然が調和した個性輝くにじいろのまち」をめざして笑顔あふれる市政の実現のため、計画的なまちづくりを進めるために必要である目的税、と説明するつもりである。

→都市計画税の導入は条例で定められているが、その使い方も併せてパッケージで説明する必要があると思う。都市計画税を過去の都市計画事業の起債の償還に充当することで生み出される一般財源を他の事業に充てるという手法は市民には分かりにくい。新たな事業も含めた都市計画税の使い方を提示しないと市民は納得できないのではないか。

→3年前に行った条例制定の説明時の資料を参考に、現状に合った説明ができるよう準備をする。

③一級河川妓王井川河川改良工事について

一級河川妓王井川については、平成25年の台風18号での浸水被害を受け、滋賀県が流下能力の

向上を図っているところである。令和3年2月から7月までの期間で県道交差点部の河川改良工事（1期工事）を完了しており、引き続き、下流側70m区間についても同構造による河川改良工事（2期工事）の施工準備を行い、2月から本体工事の着手を予定している。

この内容について、10月2日に地元説明会で説明済みである。

→治水が最優先と認識するが、妓王井川には様々な種類の魚が生息しているので、河床掘り下げ工事の際は、環境に配慮した工事をお願いしたい。

→そういった意見があることは県に伝え、検討いただく。

→環境を保全する区間を決めて整備してはどうか、意見としておく。

→上流から工事をする予定とあるが、下流部への影響はないのか。

→ネックポイントがJR横断部であり、ここで受け入れ可能な改修と聞いている。

④全員協議会への提出事項について

令和3年11月18日（木）開催の全員協議会に報告事項10件、連絡事項3件を提出する。

→報告事項に「新型コロナワクチン接種の今後の進め方について」を挙げているが、国から新たな情報提供がないことから、場合によっては取下げ、動きがあり次第随時情報提供する可能性もある。（健康福祉部）

→冒頭の市長の挨拶にもあったが、10月下旬の除草作業時、今年度2回目の飛び石による事故が起こった。本来であれば、委任専決処分をいただいた上で議会へ報告するものであるが、今年度2回目ということ踏まえ、今回の全員協議会で報告させていただくので、報告事項を1件追加する。（都市建設部）

3. その他伝達事項

（議会事務局）

11月10日（水）の臨時会において、正副議長の選出と議選監査委員が選任される。

（副市長）

新人議員が多いので、執行部として説明する際は、経過に触れて丁寧に説明するようお願いする。

4. 次回部長会議の予定

11月15日（月）13時30分～ 庁議室

5. 閉会